



こんにちは

# 村田 けい子 です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

移動事務所 090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

2021.2.12

No289

## 佐久食肉センター、3月で閉場予定！！

信毎新聞(2月10日付け)で、佐久広域食肉センターを3月末で閉場することが決定され、従業員にも解雇が伝えられたと、閉鎖に向かっての動きが加速していることが報道されました。前日の9日の議会全員協議会において、これまでの経過と町の努力が町長より報告されましたが、広域連合による「赤字が出たらどうする、その時の負担割合が決まれば」の条件が、JA側の了解が得られなかったことにより食肉公社の運営はできないという結論が出たとのことである。

### 「1年間延長のための経営改善案を示したのに・・・」

新たな経営体の募集の中で、意欲を示した2社が「検討する時間が欲しい」という申し出を受けての1年間延長であり、その間、研究会がもたれ、改善案を提示。赤字とにならないように、松本に搬入されていたJA直営の牧場からも5000頭、意欲を示した会社からも5千頭、合計1万頭増やせば、すべての借金がなくなった来年度は何とか赤字を出さずに運営できるのではないかとこの予測の元、収入確保、支出削減の計画を出したのである。しかし広域連合によると、そうした努力をしてもなお、1300万円の経営赤字は出るとの予測が出されたとのこと。

しかしこの赤字については、センター設立の出捐金(各種団体や各自治体からの)2100万円で吸収される予定であり、「通常経営においては赤字は出さない可能性が高い」ということも町長より報告されました。

### であるならば「赤字に対応」とはどういうことか。

町長によれば「豚コレラなど不測の事態が起こったときの赤字」だということでした。

つまりは維持を願う関連団体からなる研究会がようやく示した改善案を上回る「新たな条件を持ち出し、その時の責任をどう分担するか」が決まらなければ延長はできない」ということになったということ。

その可能性が全くないとは言えないが、だからと言ってそのことを頑として譲らず延長の条件にするのは、食肉センターの存続の願いに逆行する暴挙であると思う。「その時はその時」。災害扱いで県や国からの補助、あるいは生産者、町民から支援を仰ぐこともあろう。打開策はその時議論すればいいのではないか。

せつかく打開策を打ち出したのに新たなハードルを持ち出して「廃止」を押し付けているとしか思えない。

一所懸命に育てている農家と共に打開しようという意志が見えないと考える。

### 延長断念の撤回を！

2月17日には広域連合正副連合長会議が開かれ、ここで最終決定となると考えるが、その決定を待たずに事務局による新聞発表は勇み足ではないか。

「延長撤回」を覆す手立てはないものか。みんなで「その時は補填する大きな運動を起こす」ことを条件に延長してもらおう手立てはないものか。

皆様のご意見をお寄せ下さい。



生きています！



今週のパチリ

我が家の畑のレタス、元気なんです。大きくなったレタスは上にビニールをかぶせてトンネルで保護してやったんだけど霜にやられて真っ黒に。ところがこの小さいレタスは「生きています！」種がこぼれていつの間にか生え出たレタスの株です。

-6度にもなる厳しい寒さにもめげず、青青とした葉のまま、太陽に顔を向けています。葉に糖分をためて凍らないように身を守っているのでしょうか。凜として土に根を張り、春の訪れを待っています。陽だまりにタンポポも黄色い花を開いています。2月は光の春。風は冷たくても季節は巡っています。

## いよいよワクチン接種へ

まずは医療従事者に、2月中旬予定…。

- 集団接種：4月以降 クーポン券が送られる。
  - ・会場 立科町老人福祉センター
  - ・コールセンター…電話受付、冷凍庫置き場  
福祉センター左側の機能訓練室に。
  - ・令和3年4月1日以降
  - ・協力／柳沢医院 岩下医院 など

- 個別接種（医療機関等で）  
対象者は基礎疾患のある方、町外在住者等。

関連予算651.7万円（準備経費、全額国庫負担）  
が可決されました。

## 予備費（2億4300万円）を活用して ケア労働者に定期的なPCR検査を

予備費が2億4千万余、余っています。使い道を尋ねたところ「用途は決まっていないが柔軟な対応ができるように」（総務課長）とのこと。

「感染しないか、させないか不安」の声が寄せられています。高齢者施設・医療従事者・学校職員・保育園など、ケアに携わる職員さんたちにPCR検査を定期的実施すれば不安解消につながる。「ぜひ実施を」と求めました。



2月16日、18：10からのイブニング信州でこれまでの活動が放送されます。18：30以降になる予定。「ぐるっとふるさと信越」のコーナーで紹介されるそうです。お楽しみに。

## 「石屋五無齋&手仕事幸房」3水講座No5 立科伝統おやきづくり



2月17日（水）  
10:00～12:00  
ふるさと交流館

コロナ対策をしながら、伝統のおやきづくりを楽しみましょう。＊あんこ・野沢菜・切り干し大根など

【持ち物】エプロン・マスク・頭巾・持ち帰り容器  
参加費300円

申し込みは村田 ☎56-2868 有)3873

## 確定申告の順番、呼び出しベルで通知

2月15日～3月15日 確定申告が始まりますが、待合室での待機が密にならないようにとの配慮から、呼び出しベルにより車での待機を可能にするもの。ベルは10台。距離は遮蔽物がない場合150m。

今までは受付を済まし目安となる時間に会場について待っているというものでした。今後待合室の人数を減らして、呼び出しベルを活用するというもの。使い勝手はどうなりますか。 10台 35万円

## 保育園のICT化 237.6万円

園児の登降園管理、出欠席・遅刻などのメール連絡、園児台帳のデータ化、指導案、日誌などの事務作業と保護者とのやり取りを効率化するために、ケーブル敷設、パソコン10台配備などの予算。

登園管理などは、保護者に渡すQRコードを読み取ることで自動的に記帳管理されるもの。

スマホを持たない保護者もいるので、給食の献立や園だよりなどは、これまで同様、紙ベースでも行いたいとのこと。貼り出してありすぐ確認できることも重要です。

## ・道の駅・女神湖センターの指定管理者の指定2本。どちらも了承。

・郵便局と包括連携協定締結へ。これまでの連携項目に加え、認知症高齢者への見守り、クマなどの出没情報、ふるさと納税への返礼品、子供たちの社会見学、町の各種計画への参画など。

## 「佐久地区市民と野党との 共闘会議」結成集会

日時 2月28日（日）午後2時から3時半  
佐久平交流センター 2階 第5会議室

【内容】あいさつ  
共闘会議共同代表 経過報告とあいさつ  
政 党（立憲民主党 日本共産党 社会民主党）  
参加者意見表明と行動提起  
★参院補選統一候補予定者の予定  
参加 コロナ対応で80人程度。（50%）

【申し込み】2月20日（土）までに  
主催：「佐久地区市民と野党との共闘会議」準備会  
事務局：原 090-4460-2779  
h-haru@ab.auone-net.jp